

TwentyTen
NKC-Plan2010
会社再生とさらなる収益拡大
2008 2009 2010

第97期
第2四半期
報告書

自 平成 22年4月 1 日
至 平成 22年9月30日

Last spurt!



株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第97期第2四半期連結累計期間が終了いたしましたので、ここに第97期第2四半期報告書をお届けし、ご報告いたします。

当社グループは、最終年度に入った3ヶ年の新中期経営計画「NKC-Plan2010」のアクションプログラムに沿って、各種の合理化、効率化、コストダウン、生産効率のアップ、販売数量の確保等の収益向上諸施策及び次の経営課題に取り組んでまいりました。

1. 今年度の数値目標の達成
2. 集中事業（タイヤ、合成石英粉）の事業拡大
3. アドブルー、紫外線硬化性樹脂等、育成事業の事業強化
4. 小名浜工場、黒崎工場の基盤強化

上記の取り組みに注力する中、当第2四半期連結累計期間の業績は、第1四半期に引き続き、機能化学品事業が全般的に堅調さを維持し、化成品事業も概ね底堅く推移する一方、無機化学品事業についても持ち直しが続いたことから、営業利益、経常利益及び四半期純利益が、いずれも本年5月12日に発表した業績予想数値を上回りました。

一方、先行きの見通しにつきましては、海外景気の下振れ懸念、急激な円高による需要減に加え、国内政策効果の終了等による需要の反動減といった景気の下押しリスク等、留意すべき諸要素を抱え、不透明感が強まり、収益環境も非常に厳しくなることが想定されますが、グループの役員・従業員が一丸となって収益の向上・確保に向けた上記諸施策を更に徹底推進することにより、第97期の最終的な通期連結業績は、次のとおり、営業利益、経常利益及び当期純利益のいずれもについて、本年5月12日に発表した業績予想数値を上回る見通しといたしました。

(当初予想)

【売上高】	394億円 (394億円)
【営業利益】	27億円 (23億円)
【経常利益】	27億円 (23億円)
【当期純利益】	13.5億円 (11億円)

また、第97期の配当予想につきましては、上記通期連結業績の見通しを踏まえ、1株あたり3円（期末、普通配当）から4円（期末、普通配当）に修正することといたしました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

取締役社長

中村英輔

当社グループの営業の概況

当第2四半期連結累計期間（4～9月）における日本経済は、新興国における需要拡大、国内政策効果等により概ね回復基調で推移しましたが、欧米経済の減速感、急激な円高による輸出環境の悪化等から、景気が足踏み状態となる等、景況感が変化しつつあります。

一方、先行きの見通しにつきましては、海外景気の下振れ懸念、急激な円高による需要減に加え、国内政策効果の終了等による需要の反動減といった景気の下押しリスク等、留意すべき諸要素を抱え、不透明感が強まるものと見込まれております。

このような状況の下、当社グループは、最終年度に入った3ヶ年の新中期経営計画「NKC-Plan2010」のアクションプログラムに沿って、各種の合理化、効率化、コストダウン、生産効率のアップ、販売数量の確保等、業績の向上に引き続き注力いたしました。

こうした中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、第1四半期（4～6月）に引き続き、機能化学品事業が全般的に堅調さを維持し、化成品事業も概ね底堅く推移する一方、無機化学品事業についても、主要顧客の需要回復継続等により持ち直しが続いたことから、前年同期に比べ増収・増益となりました。

具体的には、当第2四半期連結累計期間の売上高は、18,782百万円（前年同期比10.5%増）となりました。損益につきましては、営業利益は1,463百万円（前年同四半期は営業利益10百万円）、経常利益は1,426百万円（前年同四半期は経常損失99百万円）、四半期純利益は748百万円（前年同四半期は四半期純損失66百万円）となりました。

セグメント別の概況

(無機化学品事業)

硝酸をはじめとするアンモニア系製品は、主要顧客の需要が順調に回復したこと等により、販売数量、売上高とも増加しましたが、ゴム用カーボンブラックは、国内需要の伸び悩みにより、販売数量、売上高とも前年同期並みとなりました。合成石英粉は、前年度後半以降回復過程を辿り始めた半導体関連分野の需要増加傾向が今期もなお順調に継続していることにより、また、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水（アドブルー）は、尿素SCRシステム搭載車走行車輛数の増加により、いずれも販売数量、売上高とも増加しました。

その結果、売上高は8,994百万円（前年同期比24.3%増）となりました。

(機能化学品・化成品事業)

タイク（ゴム、プラスチック架橋助剤）は、フッ素樹脂及びフッ素ゴム等従来向け用途に加え、太陽電池封止材向け需要が着実に伸張したことにより、販売数量、売上高とも大幅に増加しました。脂肪酸アמיד及び紫外線硬化性樹脂は、需要の回復等により、販売数量、売上高とも増加しました。電子工業用高純度薬品は、半導体市場向けは需要回復により販売数量、売上高とも増加しましたが、液晶パネル向けは市場競争激化等により販売数量、売上高とも減少し、全体として売上高は減少しました。

メタノールは、需要回復の遅れ等により販売数量は減少しましたが、原料高の影響を受け売上高は増加しました。ホルマリンは、需要の回復等により販売数量、売上高とも増加しましたが、木材加工用接着剤は、住宅産業の不振継続等の影響により販売数量、売上高とも減少しました。

その結果、売上高は7,061百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

(エンジニアリング事業)

企業の設備投資抑制傾向継続の影響で一般プラント工事の受注が減少したこと等により売上高は1,315百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

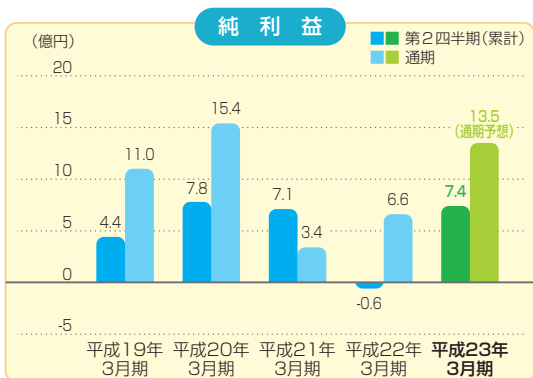
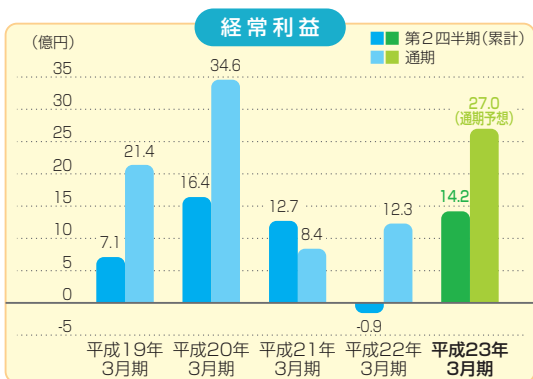
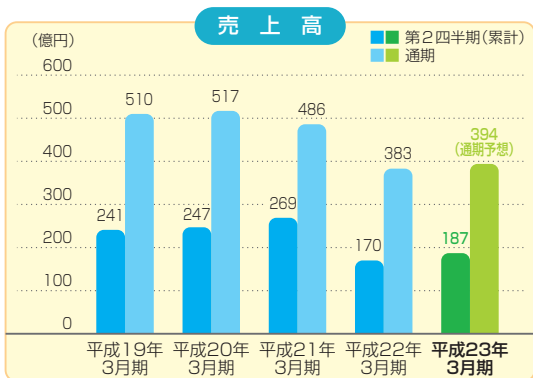
(その他事業)

貨物運送・荷役事業の売上高は前年同期並みとなりましたが、産業廃棄物処理関連業及び有機溶剤等の蒸留・精製業は処理量の減少により売上高が減少しました。

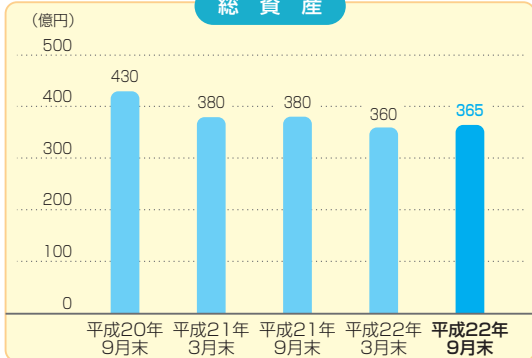
その結果、売上高は1,289百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

(注) 前年同期との比較は、前年同期の数値を第1四半期から適用している新セグメント区分に組み替えて行っております。

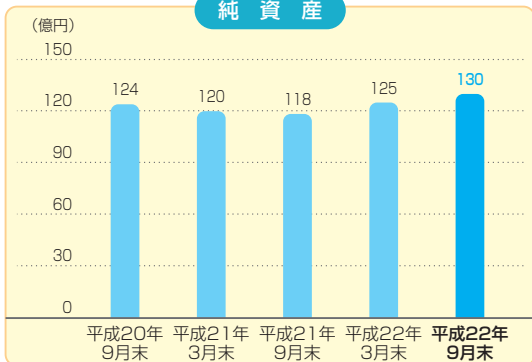
連結業績の推移



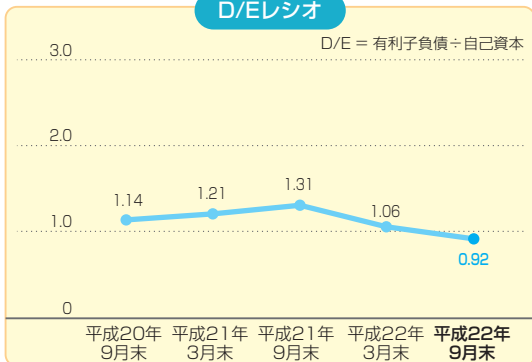
総資産



純資産



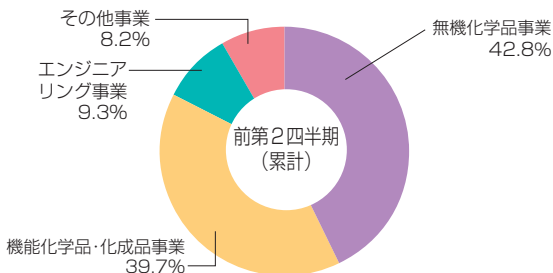
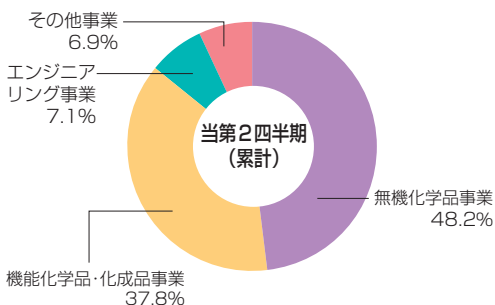
D/Eレシオ



セグメント別の事業内容

セグメント名	主要製品
無機化学品事業	アンモニア系製品（液安、硝酸、硝酸塩類、混酸、液体尿素、高品位尿素水等）、ゴム用カーボンブラック、合成石英粉等
機能化学品・化成品事業	タイヤ（ゴム、プラスチック架橋助剤）、紫外線硬化性樹脂、脂肪酸アמיד、ワックス、電子工業用高純度薬品、2-ピロリドン（有機溶剤）、メタノール、ホルマリン、硫酸、接着剤、石油販売業等
エンジニアリング事業	プラント設計・建設・修繕、建築、土木、保全工事等
その他事業	貨物運送・荷役業、蒸留事業、サービス関連業（熱供給業、産業廃棄物処理関連業）等

セグメント別売上高構成比



（注）前第2四半期の構成比は、第1四半期から適用している新セグメント区分に組み替えて計算しております。また、当第2四半期、前第2四半期ともに調整額を控除して構成比を計算しております。

連結貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
流動資産	17,073	流動負債	19,159
現金及び預金	1,245	支払手形及び買掛金	5,817
受取手形及び売掛金	10,271	短期借入金	10,797
商品及び製品	2,499	未払法人税等	506
仕掛品	1,141	賞与引当金	347
原材料及び貯蔵品	1,228	その他	1,692
その他	697	固定負債	4,315
貸倒引当金	△8	長期借入金	1,124
固定資産	19,474	退職給付引当金	2,852
有形固定資産	15,308	役員退職慰労引当金	80
建物及び構築物	3,890	その他	259
機械装置及び運搬具	3,789	負債合計	23,474
土地	6,941	純資産の部	
建設仮勘定	465	株主資本	13,048
その他	223	資本金	6,593
無形固定資産	78	利益剰余金	6,460
その他	78	自己株式	△5
投資その他の資産	4,088	評価・換算差額等	△22
その他	4,139	その他有価証券評価差額金	△22
貸倒引当金	△51	少数株主持分	47
資産合計	36,547	純資産合計	13,073
		負債・純資産合計	36,547

連結損益計算書 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

科 目	金 額	
	百万円	百万円
売 上 高		18,782
売 上 原 価		14,402
売 上 総 利 益		4,380
販売費及び一般管理費	2,917	2,917
営 業 利 益		1,463
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
受 取 配 当 金	77	
持分法による投資利益	11	
受 取 賃 貸 料	31	
そ の 他	27	146
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	67	
減 価 償 却 費	75	
そ の 他	41	183
経 常 利 益		1,426
特 別 損 失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	159	
ゴルフ会員権評価損	15	174
税金等調整前四半期純利益		1,252
法人税、住民税及び事業税	534	
法 人 税 等 調 整 額	△19	515
少数株主損益調整前四半期純利益		737
少 数 株 主 損 失 (△)		△11
四 半 期 純 利 益		748

貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
流 動 資 産	13,188	流 動 負 債	15,863
現金及び預金	692	支 払 手 形	82
受 取 手 形	83	買 掛 金	3,435
売 掛 金	7,836	短期借入金	9,830
商品及び製品	2,430	1年内返済予定 の長期借入金	207
仕 掛 品	168	未 払 金	659
原材料及び貯蔵品	1,211	未 払 費 用	795
未 収 入 金	289	未払法人税等	490
前 払 費 用	189	未払事業所税	14
繰延税金資産	154	賞与引当金	187
そ の 他	131	そ の 他	159
固 定 資 産	17,090	固 定 負 債	3,614
有形固定資産	14,138	長期借入金	1,123
建 物	2,028	退職給付引当金	2,282
構 築 物	1,414	役員退職慰労引当金	43
機械及び装置	3,508	関係会社支援損失引当金	75
車両運搬具	5	資産除去債務	13
工具、器具及び備品	190	そ の 他	75
土 地	6,659		
建設仮勘定	330	負 債 合 計	19,477
無形固定資産	56	純 資 産 の 部	
そ の 他	56	株 主 資 本	10,821
投資その他の資産	2,895	資 本 金	6,593
投資有価証券	491	利益剰余金	4,233
関係会社株式	465	利益準備金	115
関係会社長期貸付金	220	その他利益剰余金	4,117
長期前払費用	146	繰越利益剰余金	4,117
繰延税金資産	996	自 己 株 式	△5
投資不動産	712	評価・換算差額等	△20
そ の 他	86	その他有価証券評価差額金	△20
貸倒引当金	△224	純 資 産 合 計	10,801
資 産 合 計	30,278	負債・純資産合計	30,278

損益計算書 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

科 目	金 額	
	百万円	百万円
売 上 高		14,450
売 上 原 価		10,753
売 上 総 利 益		3,696
販売費及び一般管理費		2,291
営 業 利 益		1,405
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	2	
受 取 配 当 金	268	
そ の 他 の 収 益	57	328
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	62	
減 価 償 却 費	74	
そ の 他 の 費 用	38	176
経 常 利 益		1,558
特 別 損 失		
関係会社支援損失引当金繰入額	75	
関係会社貸倒引当金繰入額	43	
ゴルフ会員権評価損	15	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9	143
税引前四半期純利益		1,414
法人税、住民税及び事業税	503	
法人税等調整額	10	513
四 半 期 純 利 益		901

会社概要 (平成22年10月1日現在)

○商号

日本化成株式会社

○英文社名

Nippon Kasei Chemical Company Limited

○本社

東京都中央区新川一丁目8番8号 アクロス新川ビル

○資本金

6,593百万円

○創立

昭和12年9月1日

情熱を信頼に

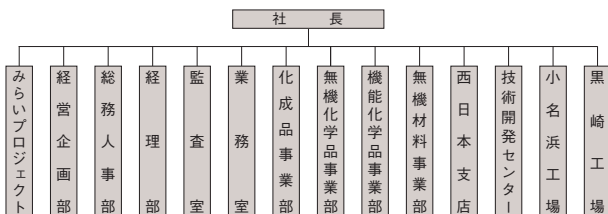
私たちは情熱の全てをお客様の価値創造にそそぎます
新たな出会いを大切に、積み上げた信頼が
私たちの未来になることを信じて

 日本化成グループ

会社組織及び主要な事業内容

組織図

(平成22年10月1日現在)



主要な事業内容

(平成22年10月1日現在)

部門別	主要製品名
化成品事業部	メタノール、ホルマリン、硫酸、接着剤等
無機化学品事業部	アンモニア系製品（液安、硝酸、硝酸塩類、混酸、液体尿素、高品位尿素水等）、ゴム用カーボンブラック等
機能化学品事業部	タイク（ゴム、プラスチック架橋助剤）、紫外線硬化性樹脂、脂肪酸アמיד、ワックス、電子工業用高純度薬品、2-ピロリドン（有機溶剤）等
無機材料事業部	合成石英粉等

役員

(平成22年10月1日現在)

地位	氏名	担当又は主な職業
取締役社長 (代表取締役)	中村英輔	
常務取締役	藤倉剛	小名浜工場長 黒崎工場、技術・生産担当
常務取締役	取溜博之	みらいプロジェクト、技術開発センター、営業担当
取締役	坂本昭二	機能化学品事業部長
取締役	村田光司	三菱化学(株) 理事 機能化学本部機能化学企画室長
常勤監査役	川村邦生	
常勤監査役	門屋利男	
監査役	田中繁雄	三菱化学(株) 監査役
監査役	美村貞直	弁護士

(注) 監査役川村邦生、門屋利男、田中繁雄及び美村貞直の4氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 200,000千株
- ② 発行済株式の総数 105,115千株
- ③ 株主数 7,416名
- ④ 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
三菱化学(株)	55,450,500 ^株	52.77 [%]
三菱商事(株)	12,750,000	12.13
(株)みずほコーポレート銀行	3,700,000	3.52
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	1,354,000	1.29
東京海上日動火災保険(株)	1,254,000	1.19
日新建物(株)	969,000	0.92
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	890,000	0.85
CBNY-DFA INVESTMENT TRUST COMPANY- JAPANESE SMALL COMPANY SERIES	355,000	0.34
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口1	311,000	0.30
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口3	280,000	0.27

(注) 持株比率は自己株式(26,372株)を控除して計算しております。

主要な事業所／グループ会社

主要な事業所

(平成22年10月1日現在)

名 称	所 在 地
本 社	〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル7F TEL 03-5540-5861
西日本支店 大阪営業グループ	〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル7F TEL 06-6231-1892
西日本支店 中部営業グループ	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビル6F TEL 052-565-3554
西日本支店 九州営業グループ	〒812-0026 福岡県福岡市博多区上川端町12-20 ふくぎん博多ビル8F TEL 092-281-6677
技術開発センター	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3115
小名浜工場	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3111
黒崎工場	〒806-0004 福岡県北九州市八幡西区黒崎城石1-1 [三菱化学(株)黒崎事業所内] TEL 093-643-4010

グループ会社

日 化 運 輸(株)	小 名 浜 蒸 溜(株)
日化エンジニアリング(株)	小 名 浜 配 湯(株)
日 化 新 菱(株)	小 名 浜 海 陸 運 送(株)
日化トレーディング(株)	岩 手 レ ジ ン(株)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主確定基準日	(1) 定時株主総会 3月31日 (2) 期末配当金 3月31日 (3) 中間配当金 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。

公告掲載URL <http://www.nkchemical.co.jp/investor-j/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Good Chemistry for Tomorrow

三菱ケミカルホールディングスグループ

日本化成株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル
tel 03-5540-5861 fax 03-5540-5961
<http://www.nkchemical.co.jp/>